



2023年8月10日

各 位

会社名 株式会社日本マイクロニクス  
代表者名 代表取締役社長 長谷川 正義  
(コード番号6871東証プライム市場)  
問合せ先 取締役上席執行役員管理本部副本部長 片山 ゆき  
(TEL. 0422-21-2665)

### 新中期経営計画策定に関するお知らせ

当社はこの度、2024年度を初年度とし、2026年度を最終年度とする新中期経営計画『FV26』を策定いたしましたので、その概要について下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 新中期経営計画『FV26』（2024年度-2026年度）概要

当社グループは、2017年に長期的に目指す姿として『MJC Future Vision』を策定し、重点施策を実現することで、経営理念である「電子計測技術を通して広く社会に貢献する」の実現に取り組んでおります。今回、大型設備投資と積極的な研究開発投資を行うにあたり、新中期経営計画の目指すべき重点施策、経営指標をステークホルダーの皆さまにお知らせいたします。

#### 2. 重点施策

- ・MJC Future Visionを踏まえ、2026年を最終年度とし、市場成長率を上回る成長を目指します。
- ・積極的に設備投資・研究開発へ投資することで、お客様のニーズに応えて共に成長します。
- ・サステナビリティへの取り組み、DX推進を成長の機会と捉え、人財育成と組織力を強化し推進します。
- ・電子計測技術を通して、更なる企業価値の向上と社会貢献に努めます。

#### <プローブカード事業>

- ・メモリ向けプローブカードは生産能力強化と新技術開発で圧倒的なシェアNo. 1を維持します。
- ・ノンメモリ向けプローブカードはMEMSタイプの新製品投入によりシェア拡大を目指します。
- ・お客様へのサポートを充実させ、より一層のサービスを充実させるとともに、新たなお客様とのリレーションを築いていきます。

#### <TE事業> (TE:Test Equipment)

- ・コンタクトビジネスの成長により安定収益源を目指します。
- ・半導体テスト向けの新製品で、新たな価値を創造し成長を目指します。
- ・お客様へのサービスをより充実させることで、フィールドサポート（ポストセールス）を第三の収入源とします。

#### 3. 経営指標

経営指標（最終年度2026年12月期）		2023年12月期見込値 2023年8月10日現在
売上高	650億円	364億円
営業利益額	150億円	34億円
営業利益率	23%	9.3%
ROE	20%	6.1%

前提条件：プローブカード市場が年平均成長率(2024-2026)7%で成長した場合  
3カ年の平均想定為替レート 1ドル=130円

#### 4. 投資計画

投資計画（期間）	2023年～2026年	2019年～22年との比較
設備投資額	300億円	2.4倍
研究開発費	200億円	1.3倍
総額	500億円	1.8倍

（注）本資料に記載されている内容は、現時点において入手可能な情報及び一定の前提に基づき作成したものであり、記載された業績目標、将来の計画数値、施策等の実現を確約、保証するものではありません。今後の様々な要因により、実際の成果、業績等は、本資料の記載内容と異なる結果となる可能性があります。

以上